

御中

LANTRONIX®

製品仕様書

ラントロニクス社製

E-100BTX-FX-06 シリーズおよび
E-100BTX-FX-06(SFP)
100BASE-TX ⇔ 100BASE-FX
光ファイバ・メディアコンバータ
スタンドアロン型

株式会社ピーエスアイ

33791 Rev D2

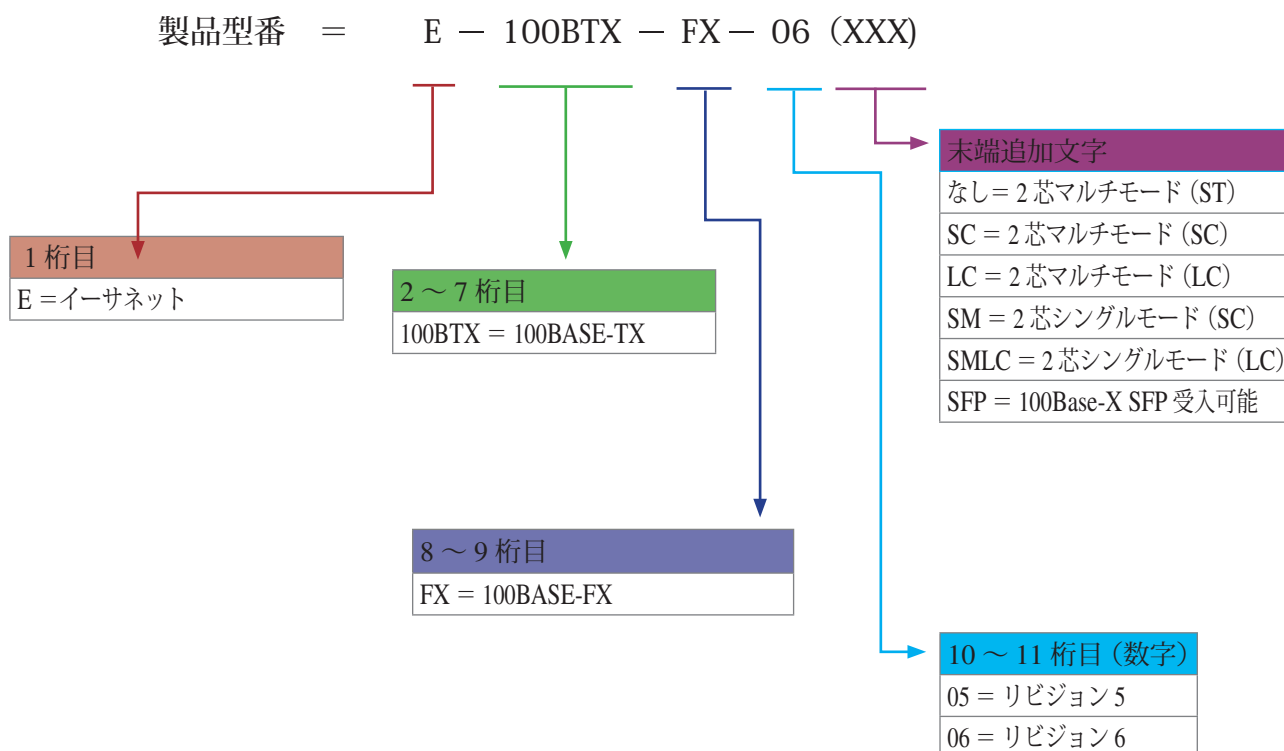
1. 適用範囲

本仕様書はラントロンクス社製単体型2芯固定光ファイバ・メディアコンバータ型番「E-100BTX-FX-06」および末尾カッコ表記の同じシリーズ製品と、「E-100BTX-FX-06(SFP)」という型番で、100BASE-X SFP トランシーバを受け入れることのできる SFP 空きスロットを搭載した製品に適用される仕様について説明しています。

2. 製品型番

製品型番	銅線ポート構成	光ファイバ・ポート構成
E-100BTX-FX-06	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-FX (ST コネクタ) 2 芯マルチモード 1300nm × 1 ポート
E-100BTX-FX-06(SC)	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-FX (SC コネクタ) 2 芯マルチモード 1300nm × 1 ポート
E-100BTX-FX-06(LC)	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-FX (LC コネクタ) 2 芯マルチモード 1300nm × 1 ポート
E-100BTX-FX-06(SM)	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-FX (SC コネクタ) 2 芯シングルモード 1310nm × 1 ポート
E-100BTX-FX-06(SMLC)	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-FX (LC コネクタ) 2 芯シングルモード 1310nm × 1 ポート
E-100BTX-FX-06(SFP)	100BASE-TX (RJ-45) × 1 ポート	100BASE-X (LC または SC コネクタ) SFP 空きスロット

・ 型番の構成について



3. 製品概要

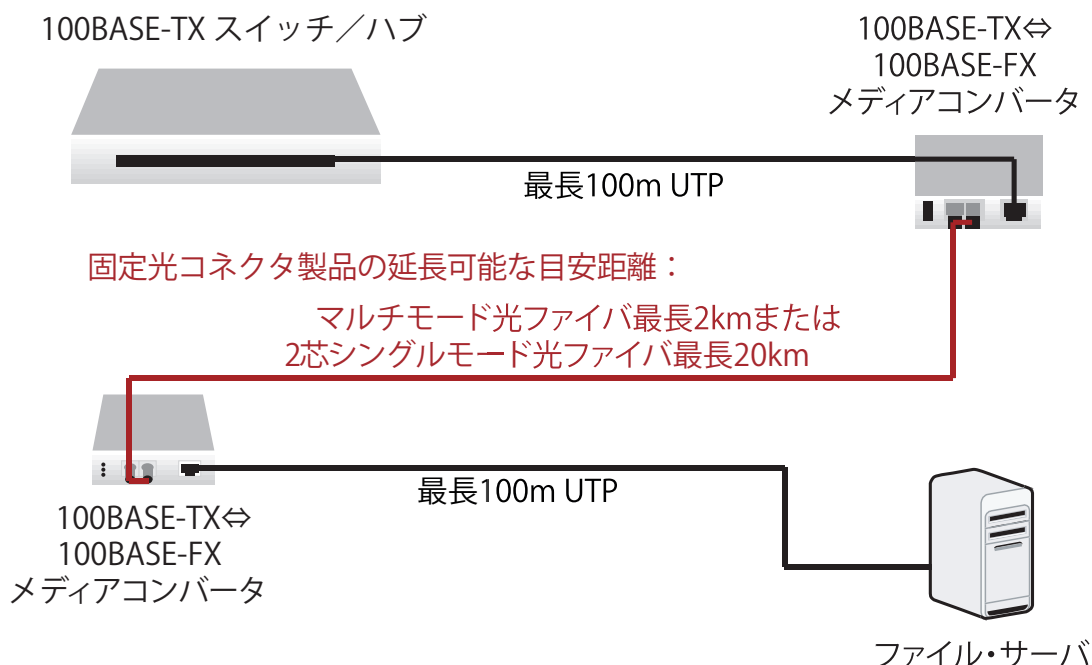
「E-100BTX-FX-06」、「E-100BTX-FX-06(SC)」、「E-100BTX-FX-06(LC)」は、100BASE-TX イーサネット銅線と 100BASE-FX 2 芯マルチモード光ファイバへ、また「E-100BTX-FX-06(SM)」、「E-100BTX-FX-06(SMLC)」は 2 芯シングルモード光ファイバへ変換して、最長 20km 伝送できるスタンドアロン（単体）型のメディアコンバータです。

型番末尾のカッコ内が (SFP) となっている製品は、スモール・ファクタ・プラグブル（略称 SFP）と称されるホットスワップ可能な光トランシーバ・モジュールを受け入れることができる SFP 空きスロットを 1 基搭載した製品のため、マルチソースアグリーメントに準拠したトランシーバであれば、何でも受け入れ可能であるため、伝送距離や延長する光ファイバの種別に応じることができ、必要なニーズに対応したトランシーバを本体の電源を入れ直すことなく、挿入および光ファイバによる接続によって、同一のイーサネット 100BASE-X の通信規格を持つ対向製品とリンクすることが可能です。

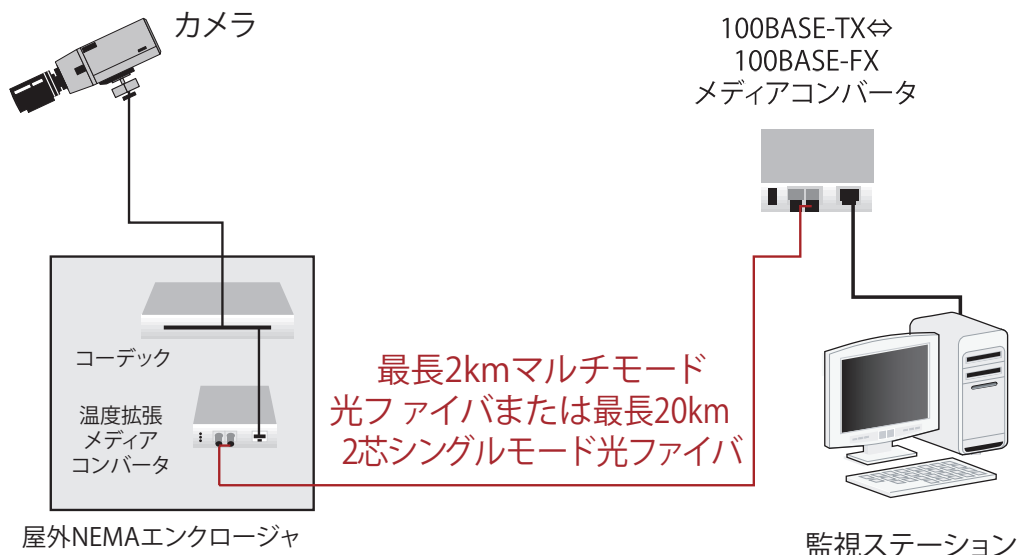
スタンドアロン（単体）型のメディアコンバータは非管理方式のメディアコンバータで、集合型メディアコンバータや同じく単体型の 100M メディアコンバータを対向で使用することができます。トラブルシューティングや障害検知のための先進機能が搭載されており、先進機能はあらゆるネットワーク環境に例外なく対応するために、一部を除き機能のオン・オフを行う事が可能になっています。代表的な先進機能としてオートネゴシエーション、オートクロス（自動 MDI/MDI-X 機能は常に有効）、ポーズ、アクティブ・リンクパススルー (LPT)、ファアエンドフォルト (FEF) を搭載しています。

・製品接続例

(1) 100M スイッチからファイル・サーバ間（PC 機器など）を E-100BTX-FX-06 同一製品対向で接続する例：



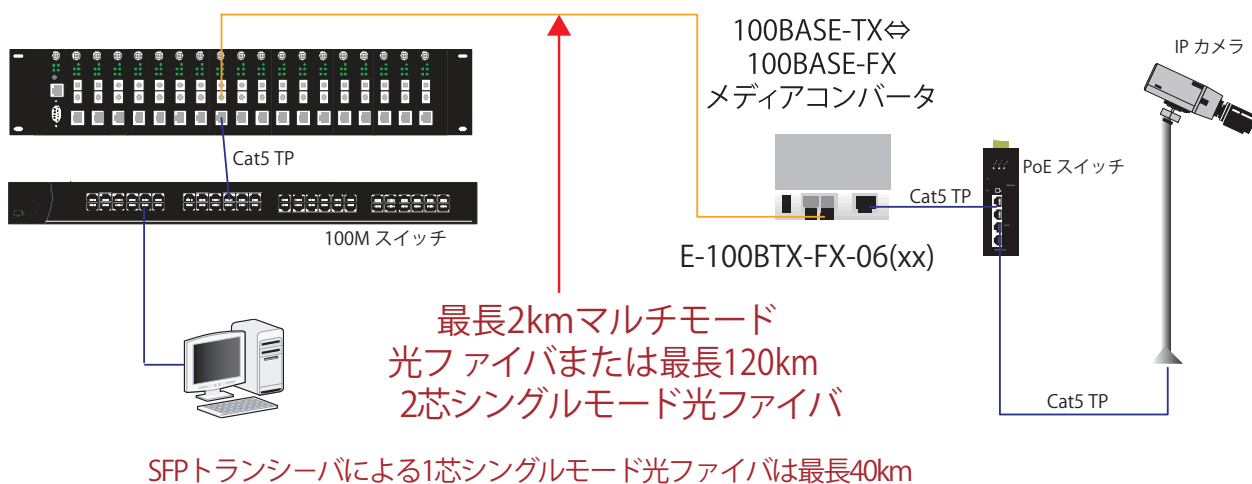
(2) 温度拡張モデル E-100BTX-FX-05(xxHT) と標準温度製品を組み合わせる例：



(3) 集合型メディアコンバータとスタンドアロン型 100M メディアコンバータを接続する例：

能集合型シャーシ ION219-A または ION106-A など

C2110-10xx (カード型 100M リピータ・メディアコンバータ)



4. 光ファイバ・ポートの伝送規格

伝送規格	規格内容／補足説明
100BASE-FX	IEEE 802.3u として標準化され、後に IEEE802.3 に統合された伝送規格。ツイストペア・ケーブルの最大延長距離 100m を超えて伝送するための規格で、100Mbps で半二重通信モード時に 412m、全二重通信モード時にマルチモード最大 2km、シングルモード最大 20km まで伝送でき、上りおよび下りの 2 本を使用する。光波長としてはマルチモード 1300nm、2 芯シングルモード 1310nm となっています。1 芯 WDM ではセンター側からリモート側へ下り方向 1310nm、上り方向 1550nm に統一されています。
100BASE-SX (SFP)	100BASE-SX は IEEE802.3 によって標準化されていません。事実上の通信業界規格です。送信および受信のために 2 芯マルチモード光ファイバを使用し、100BASE-FX で使用される長波と異なり、短波長の 850nm を使用して伝送します。コア/クラッド径が 62.5/125μm であれば最大 500m 伝送できます。日本の標準的なマルチモードでは 50/125μm のため、220m が最大長となります。850nm を使用するため、10BASE-FL との下位互換性があることになっていますが、本製品はリピータ型のため 10BASE-T への変換は不可能です。なお、当該トランシーバは供給できませんので他社製になります。
100BASE-BX (SFP)	IEEE 802.3ah (SFP) の一部として標準化された 100BASE-BX は EPON/FTTH などに利用することを想定しており、伝送路としての光ファイバケーブルは 1 芯シングルモードを使用する。100BASE-BX の「B」は、Bi-direction (双方向) の略で、1310nm と 1550nm の異なる波長の光を用いることで、1 芯光ファイバでの通信が可能となっている。伝送距離は 10km ～最大 80km まであります。また、波長を 1490nm/1550nm に拡張した最大 120km の製品もあります。いずれも利用する 1 芯シングルモード光ファイバが持つ特性により距離は減少することがあるので、リンク・バジェットなどから余裕を持って設計しなければならない。

5. 機能

E-100BTX-FX-06 および E-100BTX-FX-06(xxx) は次の機能を搭載しています。

機能名称	説明
オートネゴシエーション (AN)	<p>ツイストペア・ケーブル（銅線）をリンク時オートネゴシエーション（以下 AN と表記）信号により互いの通信規格を確認します。100Mbps で、半二重または全二重モードでリンクします。</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアコンバータ側は DIP スイッチの 1 番にて、対向先のポート設定と同じ設定に切り替える必要があります。デフォルト AN 有効です。詳しくは後述の DIP スイッチの説明を参照して下さい。 <p>通常は有り得ない設定の例外時の動作について、次の通り説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルト時（AN 有効）に対向ポートの AN 信号が受信できない時、全二重リンクが優先されます。同じく、対向ポートの AN 信号のアドバタイズメントが半二重となっている場合は、半二重リンクとなります。 メディアコンバータ側で AN 無効にしている時、対向先のアドバタイズメントが全二重（AN 有効）しかない時、リンクできないことがあります。また、この際 LPT 機能がデフォルト有効である時、光ファイバ・リンク (SDF) が一定間隔でフラッピングを起こします。 メディアコンバータ側で AN 無効にしている時、対向先のアドバタイズメントに関係なく、半二重でリンクします。

機能名称	説明
オートクロス	<p>オートクロスはツイストペア・ケーブルの結線に関係なく、MDIポートまたはMDI-Xポートに依存することなく、自動的に相互接続を行います。この機能を無効にすることはできません。</p>
ポーズ	<p>ポーズ機能は、IEEE802.3xに規定されている機能です。この機能によって、2つのデバイス間のデータ伝送を、1つのデバイスが送信待ち状態になった場合、一時的に停止します。つまり、デバイスはネットワークトラフィックの問題が解消するまで時間が必要な場合、他のデバイスにポーズ信号を送信します。その上で、データを再伝送するまで、あらかじめ設定した時間待機します。この機能はポーズ機能を搭載したデバイス間で行われるフローコントロール制御のために、メディアコンバータは、ポーズ信号を透過するだけであり、ポーズ信号がエンド・デバイスに確実に届くようにするだけです。</p> <p>DIPスイッチ2番が上（デフォルト）にて有効になっています。 DIPスイッチ2番を下に設定することで、ポーズ機能を無効化することが出来ます。</p>
ファーエンドフォルト	<p>ファーエンド・フォルト (FEF) とは、トラブル対応に有効な機能です。この機能は、光受信ポートのリンクが切断されると、コンバータは自動的にファーエンド・フォルト信号を生成し、その信号を光ファイバの送信ポートから対向先に送信してから光送信信号をオフにします。</p> <p>DIPスイッチ4番が上（デフォルト）にて有効。</p>
アクティブ・リンクパススルー	<p>電源投入後、診断モードで起動します。 DIPスイッチ3番が上（デフォルト）の時、光送信ポートは光送信を行います。そして、光ポートのリンク状態に関係無く、銅線ポートは対向ポートとリンクします。光受信ポートが相互に接続し、銅線ポートがリンクを確立してから、リンクパススルー (LPT) 機能が有効化されます。</p> <p>LPTはトラブル対応に有効な機能です。この機能は、メディアコンバータがリンク障害により孤立することを防ぎ、かつ、エンド・デバイスにリンク・ダウンの発生を通知します。リンク・パススルー機能を使って、光ファイバRXポートおよび銅線の受信信号の喪失を監視します。もし、光ファイバかまたは銅線いずれかのポートでリンク・ダウンを検出した場合、メディアコンバータは自動的に別のポートの送信信号を停止します。光ファイバの送信ポートを停止することで、リンクの障害は、対向デバイスに「パススルー」されます。</p>

6. 仕様

コンプライアンス (法令順守)		
環境特性	RoHS、WEEE 対応	
EMC 指令	FCC Part 15 Class A, EN 55032:2012, EN 55024:2010 2014/30/EU	
米国規格 (低電圧)	2014/35/EU、CFR Title 21 Section 1040.10 クラス I	
安全基準	IEC/EN60950-1:2006+A2:2013、CE マーク 2011/65/EU EN 50581:2012	
標準温度製品付属 電源アダプタ 25066J	環境特性	RoHS(2002/95/EC) 対応
	安全基準	電気用品安全法 PSE






環境仕様		
E-100BTX-FX-06 E-100BTX-FX-06(SFP)	動作温度	0°C ~ +50°C
	動作湿度	5% ~ 90% RH (相対湿度) 結露無きこと
	保管温度	-15°C ~ +65°C
	MTBF (電源アダプタ除く)	46,768 時間以上 (MIL-HDBK-217F) 123,861 時間以上 (Bellcore7 V5.0)
標準温度製品付属 電源アダプタ 25066J	動作温度	0°C ~ +50°C
	動作湿度	10% ~ 90% RH (相対湿度) 結露無きこと
	保管温度	-10°C ~ +70°C
	保管湿度	10% ~ 90% RH (相対湿度) 結露無きこと

仕様細目		
ポート 1 銅線ポート部	標準規格	IEEE802.3 100BASE-TX
	データ・レート	100Mbps
	コネクタ形状	RJ-45, 8P8C
	ケーブル規格とケーブル芯線	Cat5 以上 22.0 dB/100m @ 100 MHz AWG22 ~ 24 の単線またはより線であること 最大 100m
	ピン・アサイン	1~2 番、3~4 番がペアであること
外形寸法 (突起除く)		(幅) 4.712 インチ × (奥行) 3 インチ × (高さ) 1 インチ (幅) 119.79mm × (奥行) 76.2mm × (高さ) 25.4mm
重量 (本体のみ)	E-100BTX-FX-06	260g ~ 262g (ダストキャップ含まず)
	E-100BTX-FX-06(SC)	261g ~ 262g (ダストキャップ含まず)
	E-100BTX-FX-06(LC)	263g ~ 265g (ダストキャップ含まず)
	E-100BTX-FX-06(SMLC)	263g ~ 265g (ダストキャップ含まず)
	E-100BTX-FX-06(SM)	262g ~ 265g (ダストキャップ含まず)
	E-100BTX-FX-06(SFP)	254g ~ 256g
取付金具 (別売)	壁取付金具 (102mm)	製品型番: WMBL
	垂直壁取付金具 (127mm)	製品型番: WMBV
	DIN レール取付金具 (127mm)	製品型番: WMBD
	DIN レール取付金具 (79mm)	製品型番: WMBD-FS (水平・小型)
19 インチ 対応ラック (別売)	12 スロット・メディアコンバータ・ラック (電源搭載型)	製品型番: E-MCR-05

仕様細目		
19 インチ 対応 トレイ (別売)	4 スロット・メディアコンバー タ・トレイ	製品型番：RMS19-SA4-01
	4 スロット・メディアコンバー タ・トレイ・ロング	製品型番：RMS19-SA4-01-OG (奥行 300mm)
付属品		電源アダプタ、ゴム足×4個
消費電力	固定光モデル ST/SC/LC	1.75W
	SFP スロットモデル	約 1.0W (SFP 除く、参考値 0.66W を加算)
入力電源	入力範囲 (共通仕様)	DC9V ~ DC14V
LED 表示機能	Power (電源)	電源オン=緑点灯
	SDF (光ファイバ)	光リンク時=緑点灯、未リンク時=消灯
	SDC (銅線)	銅線リンク時=緑点灯、未リンク時=消灯
	RXF (光ファイバ RX)	光データ受信時=緑点滅、未受信時=消灯
	RXC (銅線 RX)	銅線データ受信時=緑点滅、未受信時=消灯

光ポート仕様細目 (型番末尾別となっている項目があります)			
伝送規格	100BASE-FX		
データ・レート	125Mbps、155Mbps		
光コネクタ研磨	PC 研磨、SPC 研磨、UPC 研磨 (対応)		
光ファイバ規格と 延長距離目安	() なし, (SC), (LC)	OM1 マルチ・モード 62.5/125 μ m = 2km OM2 マルチ・モード 50/125 μ m = 2km OM3 マルチ・モード 50/125 μ m = 2km いずれも波長 1300nm	
	(SM), (SMLC)	シングル・モード 9/125 μ m、波長 1310nm、 最大 20km	
適合コネクタ	() なし	ST	
	(LC), (SMLC)	LC または DLC (デュプレックス LC)	
	(SC), (SM)	SC	
レーザー安全基準	クラス 1 (IEC-60825 準拠)		
適合光ファイバ	石英系 GI マルチモード または 石英系シングルモード		
光中心波長	() なし	1270nm ~ 1380nm	
	(SC)	1270nm ~ 1380nm	
	(LC)	1270nm ~ 1380nm	
	(SM)	1260nm ~ 1360nm	
	(SMLC)	1260nm ~ 1360nm	
光送信レベル (BOL)	() なし	GI 62.5/125 μ m	- 20.0dBm ~ - 14.0dBm
		GI 50/125 μ m	- 23.5dBm ~ - 14.0dBm
	(SC)	GI 62.5/125 μ m	- 20.0dBm ~ - 14.0dBm
		GI 50/125 μ m	- 23.5dBm ~ - 14.0dBm
	(LC)	GI 62.5/125 μ m	- 19.0dBm ~ - 14.0dBm
		GI 50/125 μ m	- 23.5dBm ~ - 14.0dBm
	(SM)		- 15.0dBm ~ - 8.0dBm
(SMLC)		- 15.2dBm ~ - 8.0dBm	
光受信感度	() なし, (SC), (LC)	- 30.0dBm ~ - 14.0dBm	
	(SM)	- 31.0dBm ~ - 8.0dBm	
	(SMLC)	- 32.5dBm ~ - 3.0dBm	

光ポート仕様細目 (型番末尾別となっている項目があります)		
光許容損失 MMF=62.5μm 基準	() なし	0dB ~ 10.0dB
	(SC)	0dB ~ 10.0dB
	(LC)	0dB ~ 11.0dB
	(SM)	0dB ~ 16.0dB
	(SMLC)	0dB ~ 17.3dB

DIP スイッチの状態の説明		
4 ポジション・ DIP スイッチ		(出荷時デフォルト) オートネゴシエーション有効、 ポーズ有効、 アクティブ・リンクパススルー有効、 ファアエンドフォルト有効
		1 番=下：オートネゴシエーション無効
		2 番=下：ポーズ無効
		3 番=下：アクティブ・リンクパススルー無効
		4 番=下：ファアエンドフォルト無効

(次ページに電源アダプタの仕様細目があります)

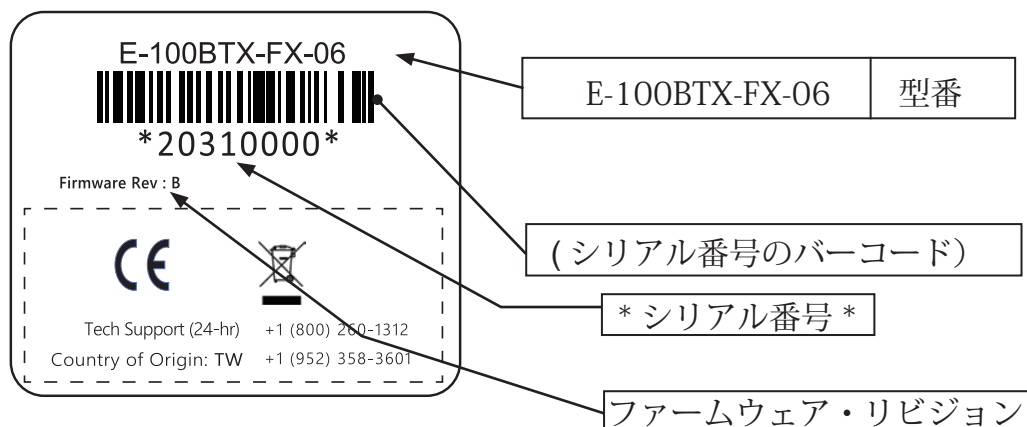
仕様細目				
付属 電源アダプタ 25066J AC/DC 変換 スイッチング 方式 2020 年 11 月 19 日版 Ref # A12331RF	11 電気的特性	入力電圧	定格 AC100V (AC90 ~ 110V)	
		入力電流	定格 210mA (AC100V)	
		入力容量	定格 21VA (AC100V)	
		対応周波数	47 ~ 63Hz	
		リップル/ リップルノイズ	リップル = 最大 100mVp-p (公称出力電圧で測定) リップルノイズ = 最大 200mVp-p (公称出力電圧で測定) 但し出力端子に電解コンデンサ 100μF、フィルムコンデンサ 0.22μF を接続して測定	
		変換効率	70%以上 (定格入力、定格負荷時)	
	搭載保護回路	過電圧保護、過電流保護		
	耐電圧	AC プラグ~出力プラグ間 AC1.5kV/1 分間 (但しカットオフ電流は 10mA とする)		
	絶縁抵抗	AC プラグ~出力プラグ間 DC500V にて 100M Ω以上		
	無負荷電圧	最大 DC12.3V (入力電圧範囲、無負荷時)		
	出力電圧	DC12.0V ± 5% (入力電圧範囲、定格負荷時)		
	出力電流	最大 0.8A		
	過電圧保護	15V 以上の過電圧が出力されないこと		
	過電流保護	負荷電流 DC 約 1.7A で出力停止される 但し、過電流での使用を行わないこと		
	漏えい電流	最大 0.5mA		
	外形寸法	(幅) 63.5mm × (奥行) 31mm × (高さ) 48.5mm		
	重量	約 130 g		
	AC プラグ	2 極 (日本向け)		
	DC コネクタ (バレル)	内径	2.1mm	
		外径	5.5mm	
		長さ	9.5mm	
	DC コネクタ・ケーブル長	1.86 m (本体除く)		
	物理特性	コード折り曲げ強度	0.5kg (60 度折り曲げで往復 500 回以上であること)	
		コード瞬間引張り強度	本体固定し、コードを 49N1 分間の静荷重で引張りを行い、その後性能に異常の無いことを確認	
		耐熱性	温度 70 ± 2℃の状態に 168 時間放置し、取り出して 1 時間後に絶縁抵抗は前述と同じ測定方法にて 10M Ω以上、耐電圧も前述の測定方法通りとした場合、出力電圧に異常が無いことを確認	
		耐湿性	温度 25 ± 2℃、90 ± 3% RH の状態に 168 時間放置し、取り出して 1 時間後に絶縁抵抗は前述と同じ測定方法にて 10M Ω以上、耐電圧も前述の測定方法通りとした場合、出力電圧に異常が無いことを確認	
		耐寒性	温度 - 20 ± 2℃の状態に 168 時間放置し、取り出して 1 時間後に絶縁抵抗は前述と同じ測定方法にて 10M Ω以上、耐電圧も前述の測定方法通りとした場合、出力電圧に異常が無いことを確認	
耐振動試験		全振幅 1.5mm、掃引きサイクル 10 - 55 - 10Hz を 1 分間とし、XYZ3 方向各 1 時間で破損せず、出力電圧に異常の無いことを確認		
雷サージ		IEC61000-4-5 において入力ライン相互間に ± 1kV、入力ライン対大地間に ± 2kV を印加して破壊がなく、電気的特性を満足することを確認		

仕様細目			
オプション 電源アダプタ 25086	電气的特性	入力電圧	AC90V ~ 264V (銘板上は 100 ~ 240VAC と表記)
		対応周波数	47 ~ 63Hz (銘板上は 50/60Hz と表記)
		入力電圧変動	± 5% (出力コネクタ測定)
		ライン変動率	± 1% (フルロード)
		出力リップル	1% p-p
		スイッチング損失	最大 5% (25%の負荷で 1 ミリ秒の回復時間)
		起動遅延時間	最大 1 秒
		立ち上がり時間	AC115V フルロード時、最小 10 ミリ秒
		突入電圧	最大 30A/40A (115V/230V コールドスタート時)
		スイッチング周波数	100KHz
		変換効率	フルロード時 75%
		AC/DC 変換 スイッチング 方式	搭載保護回路
過電圧保護			制限電圧 < 130% (クローバー過電圧保護)
耐電圧			1 次回路側から 2 次側へ DC4242V (AC3000V)、 1 次回路側から GND へ DC2121V (AC1500V)
保護導体電流 (接地漏れ電流)			< 300μA @ AC264V
出力電圧			DC12V
出力電流			最大 1.25A
外形寸法			(幅) 86.5mm × (奥行) 47.4mm × (高さ) 32mm
LED 表示			なし
AC 入力コネクタ			3P オス (3P-3P 電源ケーブル 125V12A : 2.5m 付属)
DC コネク タ (バレル)	内径		2.1mm
	外径	5.5mm	
	長さ	10.8mm	
DC コネクタ・ケーブル長		1.8 m (本体除く)	

7. 型番およびシリアル番号位置、シール有無

製品型番（モデル名）、シリアル番号（製造番号）の位置について説明しています。

E-100BTX-FX-06(シリーズ)では底面に次のシールが貼り付けられています。

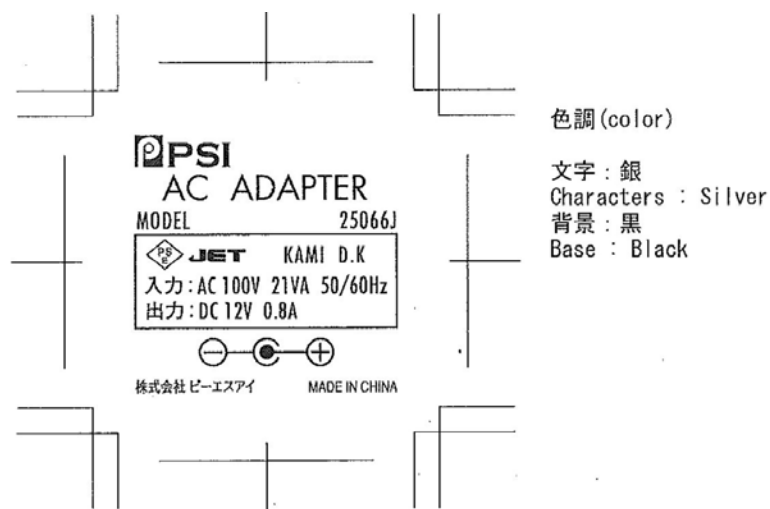


・ラベルの上から順に、モデル名、シリアル番号のバーコード、*シリアル番号*、Firmware リビジョンを表していますが、上図点線の枠内にある CE マークや WEEE 指令マークおよび製造国を示す (Country of Origin: 製造国) や Technical Support の米国電話番号などの表記は製造ロット毎に記載が無かったり、異なる場合がありますので何卒ご容赦ください。

付属電源アダプタ 25066J または 25086 にシリアル番号はありません。

25066J は中華人民共和国で製造しております。

25066J の銘板表示は次の通りです。



8. シールド・ツイストペア・ケーブルの接地について

すべてのシールド・ケーブル（STP など）は、安全性と継続的なシールド接続の有効性のために接地する必要があります。端から端まで維持されたグラウンド・ループや、複数の接地接続がある場合に、これらの接地接続部におけるコモンモード電圧電位の差によりノイズを発症することがありますのでご注意ください。

スタンドアロン型メディアコンバータとネットワーク・スイッチの組合せの場合、スイッチの背面などにある GROUND WIRE CONNECTOR を利用して接地して下さい。

スタンドアロン製品同士の組み合わせの場合、本製品のように接地コネクタがありませんので、原則ケーブル施工業者様の接地仕様にお任せしており、一般的にはクロージャボックスなどを利用して接地を 1 箇所で行うなどの方法があります。

9. 製品保証・保守について

この製品は付属電源アダプタを含めまして、販売より 5 年間となっております。

保守については次の案内の通りです。（全製品共通案内）

機器に障害が発生した場合、無償で代替品を出荷致します。（センドバック保守）

※先出しセンドバック保守は別途契約が必要になります。

※先出しセンドバック保守には対象外の製品もございます。予め営業担当にお問い合わせください。

※代替機器の発送は受付時間及び発送手配の状況により、翌営業日となる場合がございます。

技術サポート

製品に関するテクニカルサポート、プリセールのご相談窓口になります。

検証用製品貸出サービス 及び 製品購入のご相談

導入前に検証機をお貸出し致します。

製品ご購入をご希望の方へ販売店をご紹介致します。

株式会社ピーエスアイ

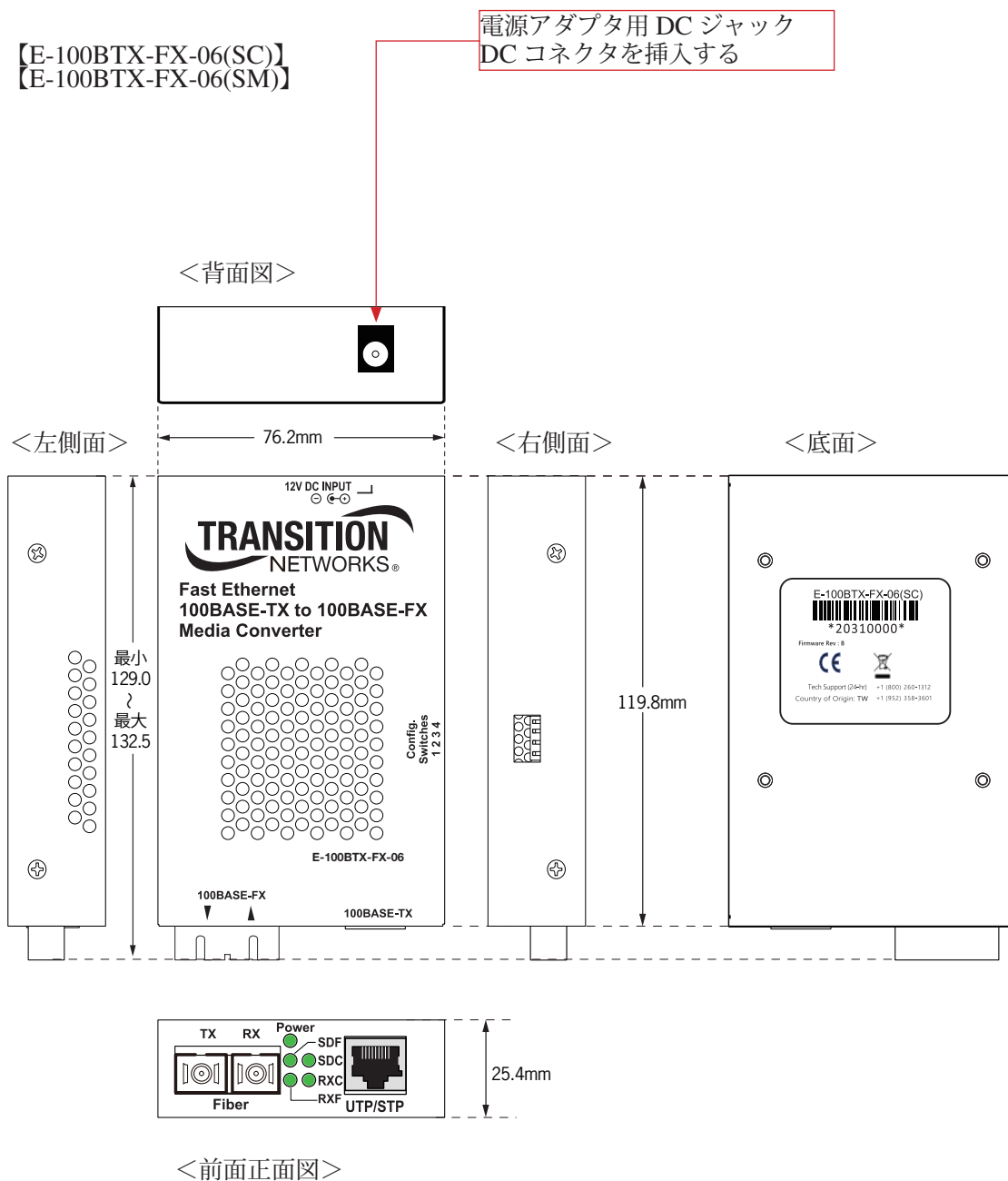
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3

TEL : 03-3357-9980

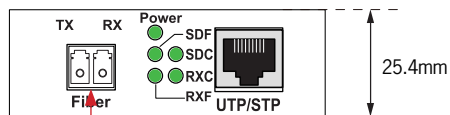
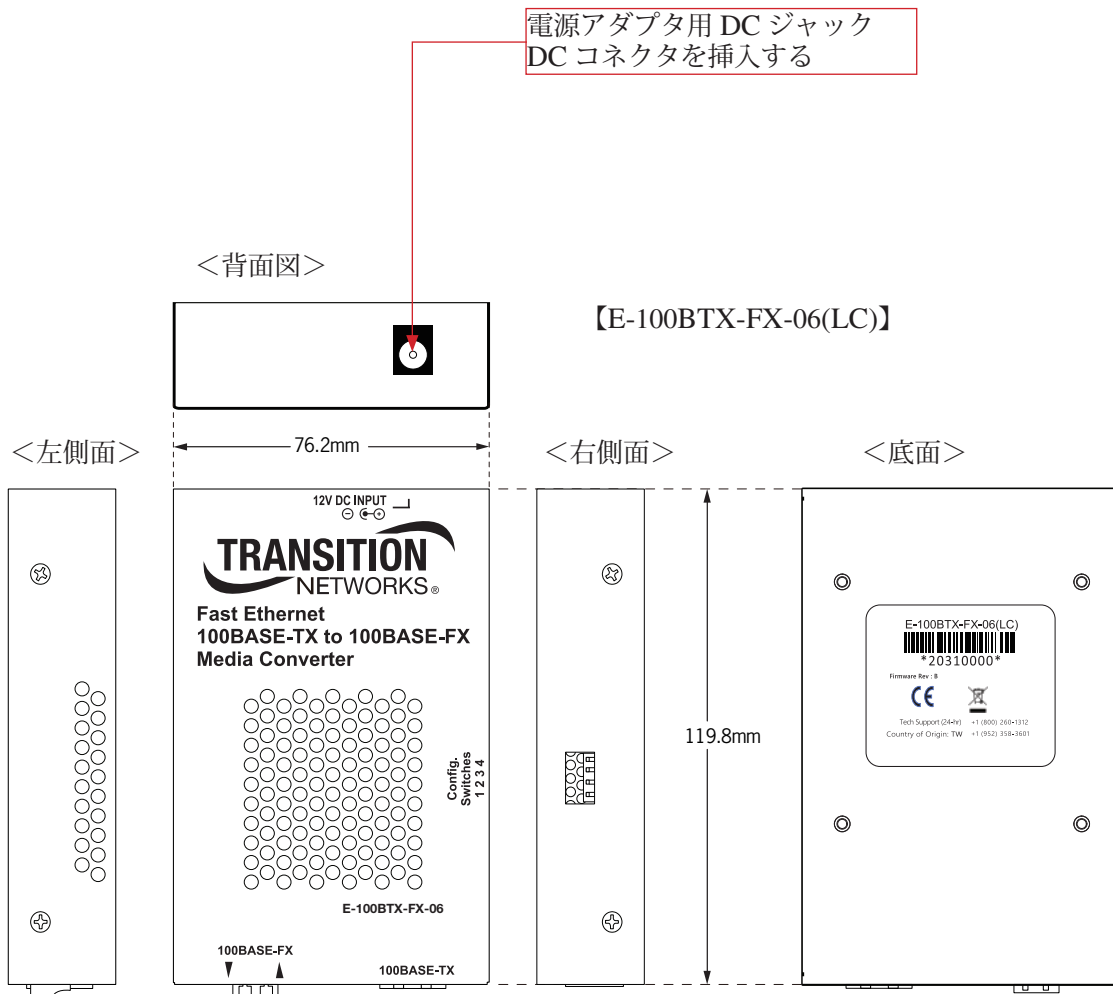
FAX : 03-5360-4488

support@psi.co.jp

10. 製品寸法図



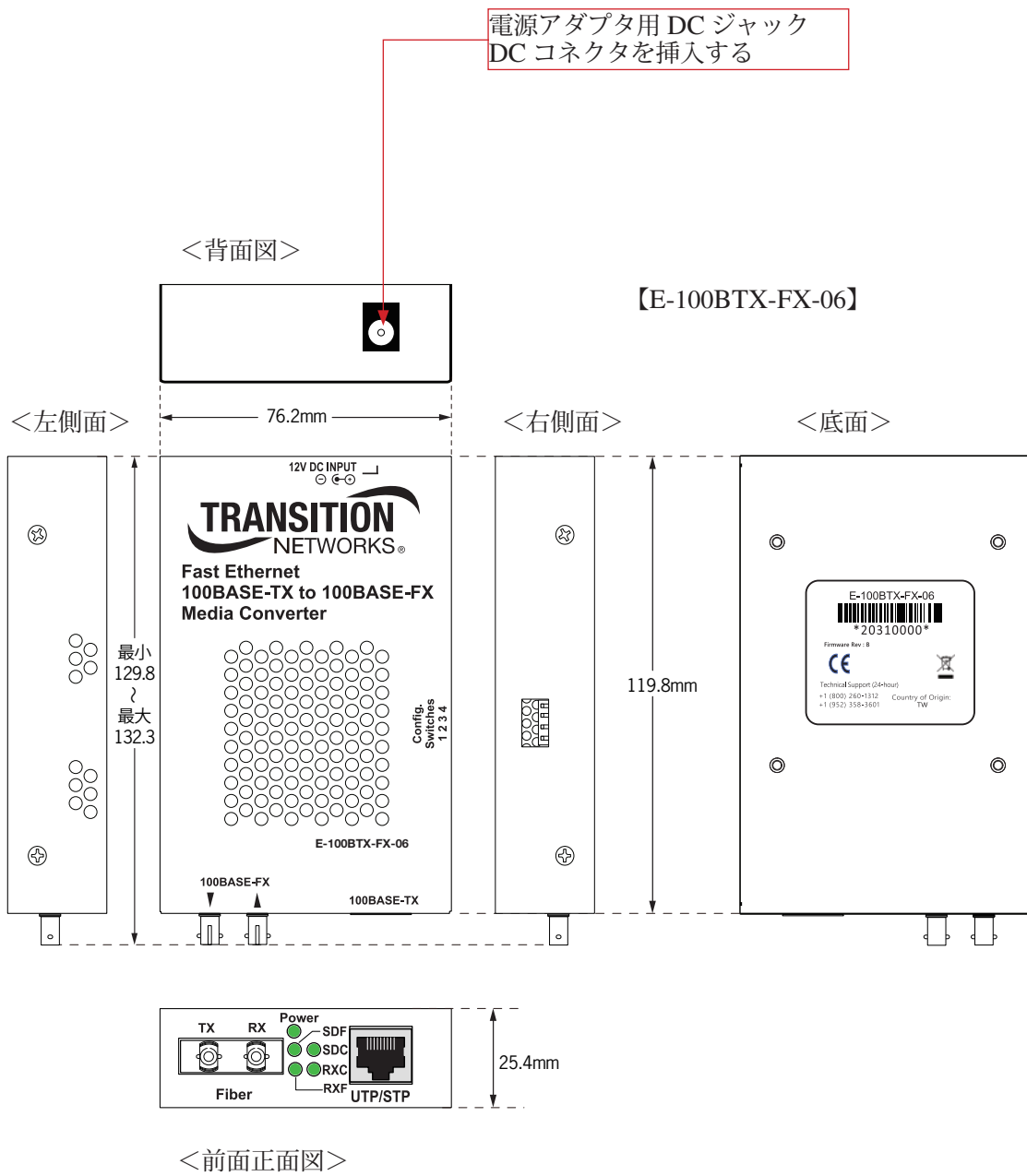
指定外公差：± 1.0mm



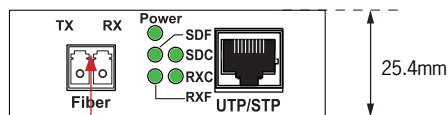
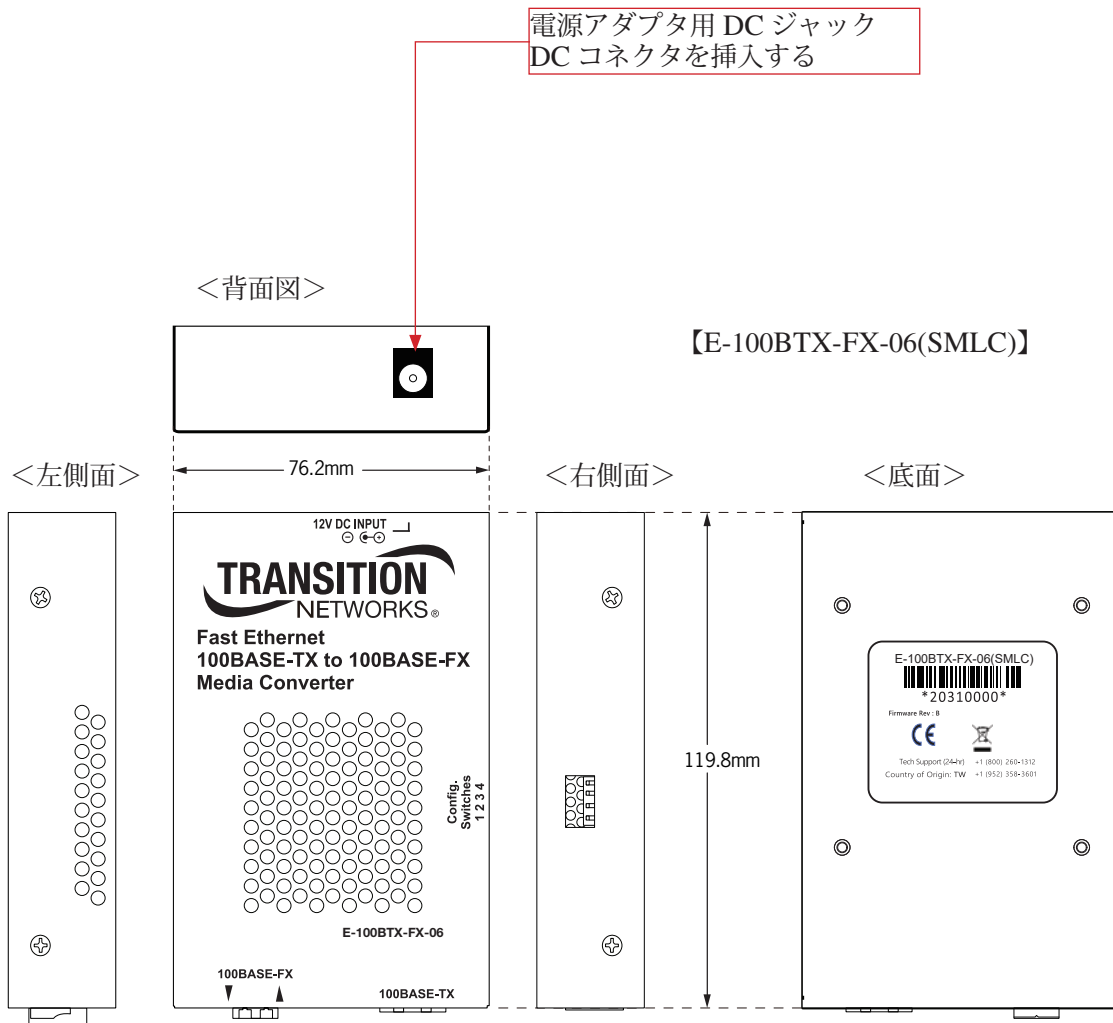
<前面正面図>

メタリック (金属)

指定外公差：± 1.0mm



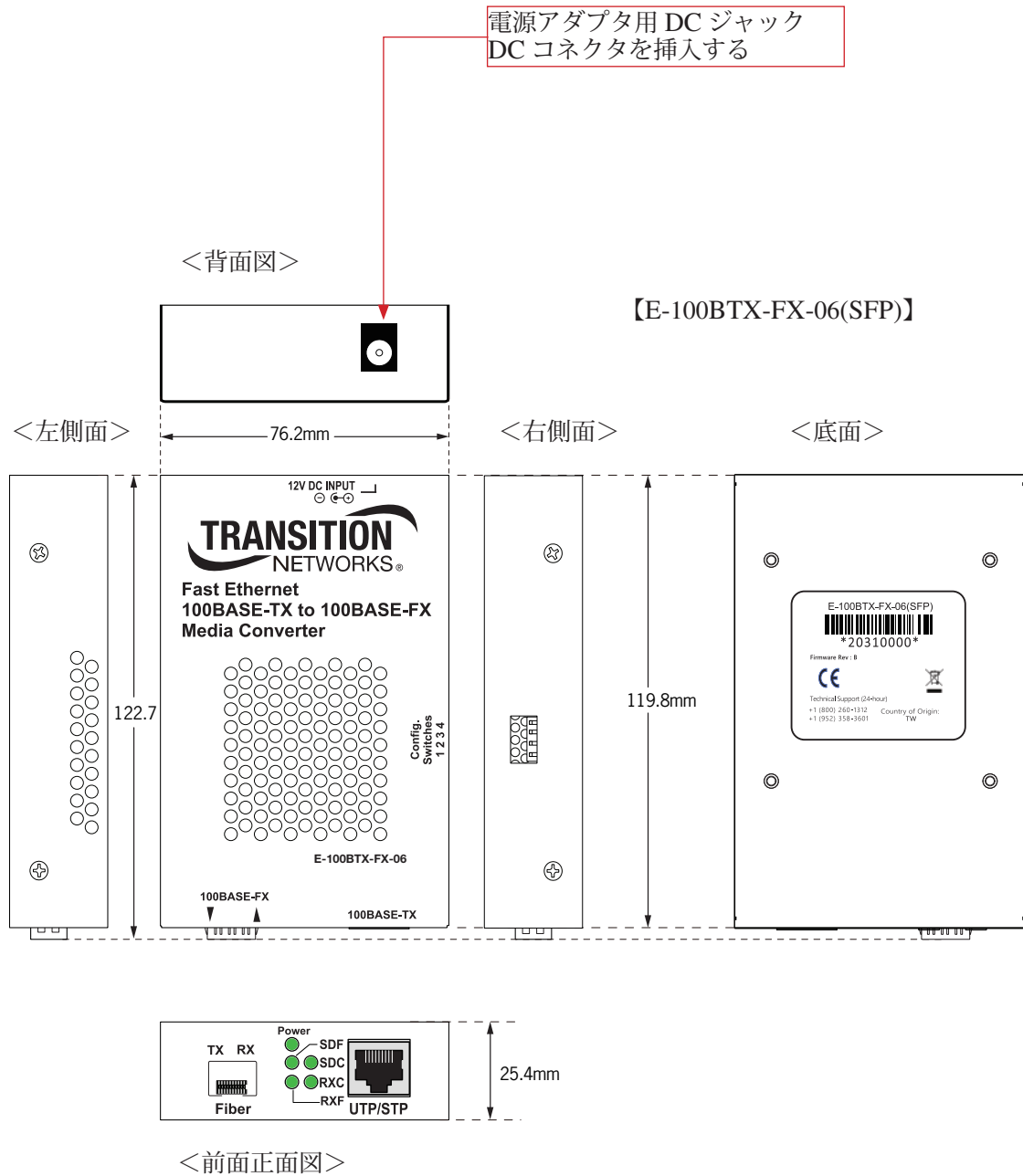
指定外公差：± 1.0mm



<前面正面図>

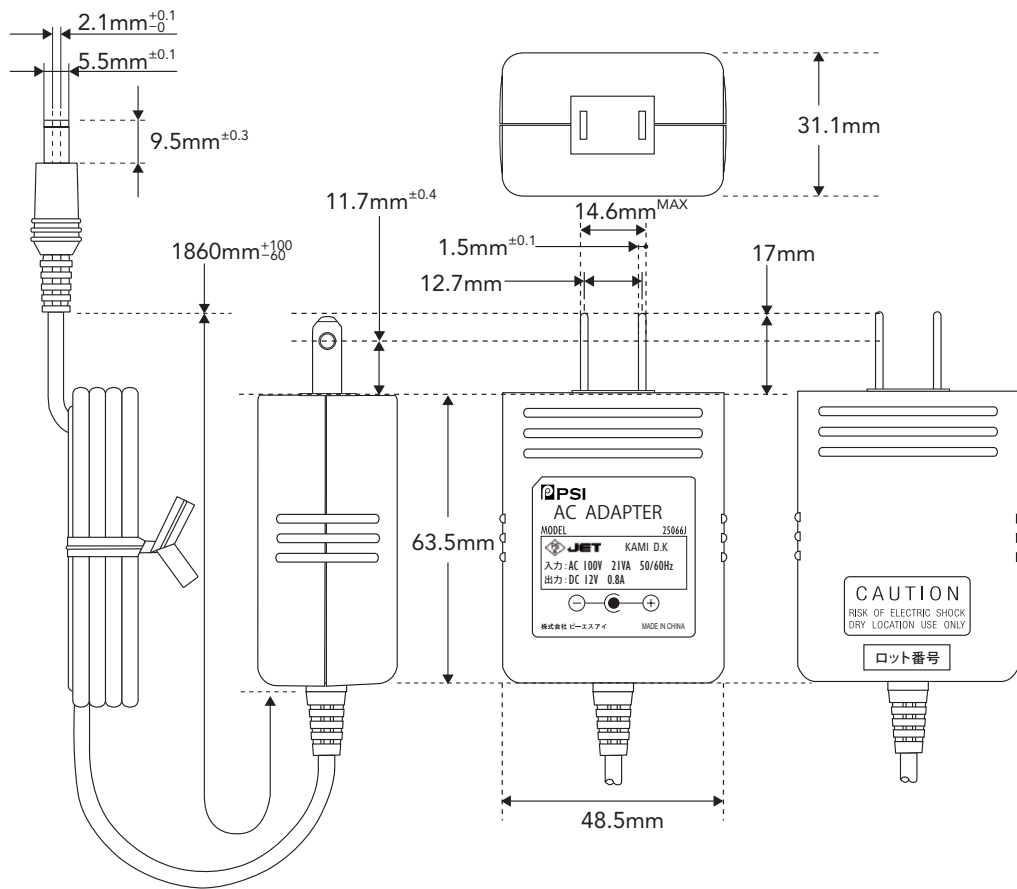
指定外公差：± 1.0mm

グレー（非金属）



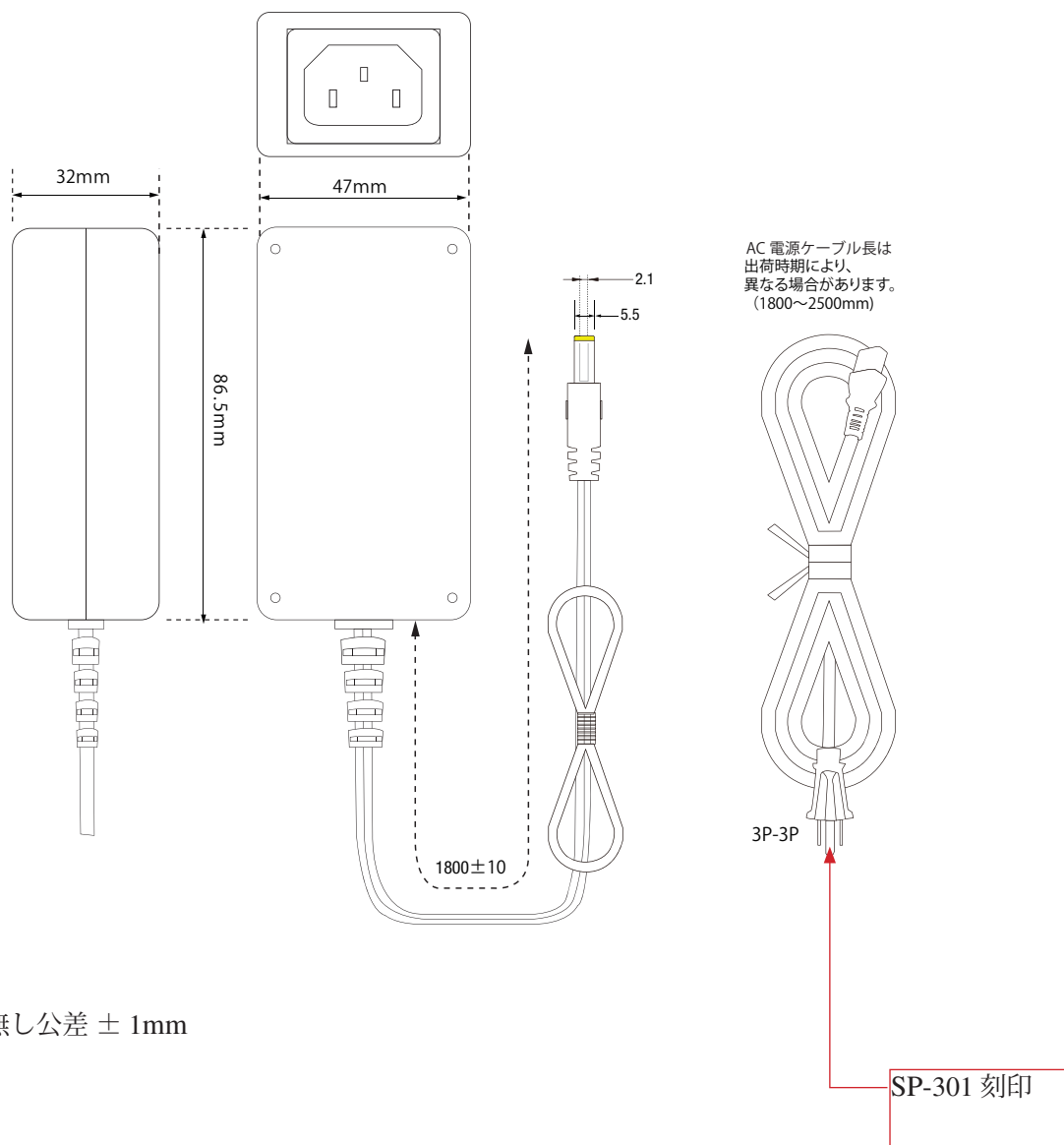
指定外公差：± 1.0mm

<付属電源アダプタ 25066J> (標準温度製品向け)



指定外公差 ±1mm

電源アダプタ 25086 図面



指定無し公差 ± 1mm

※電源アダプタの型番は、アダプタ本体に明記されていません。

※付属 AC 電源ケーブルの部品番号は「27134」、3P 側プラグは「SP-301」刻印のあるものが、
トラッキング対策対応品です。

証明書番号	JET0985-43001-1003
-------	--------------------

11. 本仕様書の有効期限

本仕様書は日本で作成しているため、メーカーの HW リビジョンや FW リビジョン番号とは必ずしも一致しません。随時、修正内容が確認でき次第更新されることがあります。

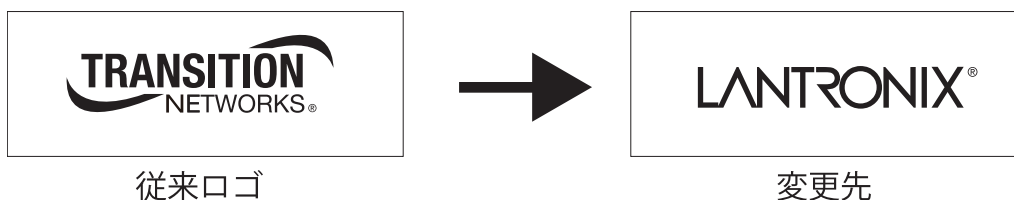
12. 責任範囲について

責任の所在や範囲につきましては、弊社が製品と共に発行する保証書の内容に準じるものとします。

13. 製品に印刷されている登録商標ロゴの変更について

現在、製品の箱の登録商標ロゴマークの変更がある場合がありますが、今後製品寸法図でも表現されているカバー面に印刷されるロゴマークが突然変更される場合があります。変更予定時期は未定ですが、カバー部品枯渇により即変更されます。

製品カバー天面にある製造元の登録商標（ロゴ）は、
突然右記のように変更される場合があります。



14. 改版履歴

発行日	改版内容
2020年4月17日	初版
2022年10月5日	<p>Rev.B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造元メーカー名を正しく変更した。 ・リビジョン変更について： 本体シリアル番号ラベル記載の Program Rev.B と一致するリビジョン番号とした。Rev.A をこれまで出荷したことはありません。 ・図面のうち、E-100BTX-FX-06、同 (SMLC)、同 (SFP) の寸法に誤記が確認されたため、修正した。 ・図面のうち、25066J 電源アダプタの寸法図において、製造元原本と異なる表記が多数見つかったため修正した。公差値を表記した。 ・登録商標ロゴの変更について追記。
2022年10月21日	<p>Rev.C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属電源 25066J の仕様書の内容を現行バージョンと一致させた。
2023年7月06日	<p>Rev.D2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体寸法の公差を ± 0.6mm とし、3 辺のサイズは幅 3 インチ、奥行 4.712 インチ、高さ 1 インチを基準として改訂し、奥行の光ポート飛び出し部分の寸法差異に関して、E-100BTX-FX-06 のみ製造ロット毎に異なる場合がある事を最小および最大値で明確化しました。